

板橋区立郷土資料館



赤塚城址及び赤塚溜池公園に隣接した郷土資料館は、昭和47年（1972）に開館し、板橋区の歴史や文化に関するさまざまな資料の展示を行っています。

📍 東京都板橋区赤塚5-35-25 📞 03-5998-0081 🕒 9時30分～17時（入館は16時30分まで） 🗓 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始 🆓 無料 🚗【電車】都営三田線「西高島平駅」から徒歩13分 【バス】都営三田線新高島平駅・東武東上線下赤塚駅から板橋区コミュニティバス・りんりん号で「区立美術館入口」下車徒歩5分、都営三田線高島平駅から国際興業バス「区立美術館経由 成増駅北口」行きで「区立美術館」下車徒歩2分、東武東上線成増駅から国際興業バス「区立美術館経由 高島平操車場」行きで「区立美術館」下車徒歩2分

こちらからHPをご覧ください

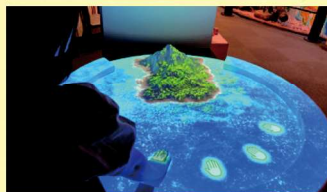


板橋区立熱帯環境植物館



熱帯環境植物館は、世界三大熱帯雨林の中から、日本と関係の深い東南アジアの熱帯雨林を再現しています。企画展示やイベントを通して、熱帯の環境を楽しみながら学べる博物館型植物館です。

触って楽しむ
プロジェクションマッピング公開中！



こちらからHPをご覧ください



📍 東京都板橋区高島平8-29-2 📞 03-5920-1131 🕒 10時～18時（入館は17時30分まで） 🗓 月曜（祝日・休日の場合は翌日）、年末年始 🎫 大人260円、小・中学生130円、65歳以上130円 ※土曜・日曜、区立小学校の夏休み期間、小・中学生は入館無料 🚗【電車】都営三田線「高島平駅」から徒歩7分 【バス】東武東上線成増駅から国際興業バス「高島平操車場」行きで「板橋特別支援学校」下車徒歩5分、東武東上線東武練馬駅から国際興業バス「浮間舟渡駅」行きで「高島第一中学校」下車徒歩1分

ARの遊び方

Step①



現地に訪れて、マップにある2次元バーコードを読み取ってみよう！

現地に行って、リーフレットにある2次元バーコードを読み取ると、ARを起動するためのカメラにアクセスできます。

Step②



画面の指示に従って、体験スポットにスマホをかざってみよう！

画面の指示に従って、体験スポットの空間を読み取ると、スマホのカメラ画面のなかにARが現れます。

Step③



好きな画角に動かして自分だけのオリジナルAR写真を撮影してみよう！

スマホ画面に現れたARを好きな画角に動かして写真撮影をすることができます。現地でしかできないAR体験をお楽しみください。

スマホの画面に
甲冑が現れます！！



表紙にかざして
ARを体験！

上の2次元バーコードを読み取って、画面の指示に従い表紙にカメラをかざすと、体験版として甲冑のARを体験することができます。

対応端末

iPhone (iOS: OS 16.0 以上)、
Android (OS 10.0 以上)
※機種によっては対応できない
場合がございます

推奨環境

Safari最新版、
Google Chrome 最新版

ご利用にあたっての注意事項

- ・2次元バーコード読み取り後、画面に表示される案内に従い、動作や方向、カメラ、GPS（位置情報）へのアクセスをいづれも許可にしてください。
- ・読み込み中から進まない場合、ブラウザのタブをすべて閉じ、他に使用しているアプリ等をすべて終了した上で再度お試しください。
- ・両施設では、ITABASHI Free Wi-Fiを利用いただけます。館内の通信環境が悪い場合は、ぜひご利用ください。
- ・ARカメラや表示される3Dに不具合が生じる場合は、ブラウザの履歴を削除し、再度お試しください。
- ・動作や対応端末に関わる不具合は、palan社のヘルプページをご覧ください。

表紙写真：8x10/PIXTA 19 STUDIO/Shutterstock.com iStock.com/maruko 出典：「木曾街道六拾九次」「木曾街道六拾九次 第二 木曾街道板橋之駅」（国立国会図書館）を加工して作成

【問い合わせ】板橋区役所 都市整備部 都市計画調整課・都市基盤DX係 電話：03-3579-2566 メール：t-dx@city.itabashi.tokyo.jp

郷土資料館からはじまる

板橋デジタル 歴史探訪

今に続く板橋の歴史が蘇る！



クロスワードを解いて
限定フォトフレームを
ゲット！





AR体験スポットを 巡ってみよう!



板橋区立郷土資料館内及びその周辺、ならびに板橋区立熱帯環境植物館内のスポットで、スマホを使って楽しく学べるARが体験できます。

※AR…専用のウェブカメラを用いて現実空間の上に現実空間にないものをスマホ画面内に表示できる仕組みのこと。ARの遊び方は裏面をご覧ください。

旧田中家住宅と 民家の暮らし



郷土資料館西部には、周辺地域に実際にあった江戸時代末期～明治建造の農家の古民家「旧田中家住宅」が移築されています。民家の造りは現代とどのように違い、かつて人々にはどのような暮らしがあったのでしょうか。現地に行ってみましょう。

AR体験は
こちら!



「高島平」の地名の由来をご存じでしょうか? 郷土資料館常設展の一部では、高島平の地名の由来となった日本初の西洋式砲術訓練について紹介しています。この訓練を指揮した人物の絵を見つけて読み取ると、この出来事が地名となった物語だけでなく、当時の砲術訓練の様子が体験できます。

AR体験は
こちら!

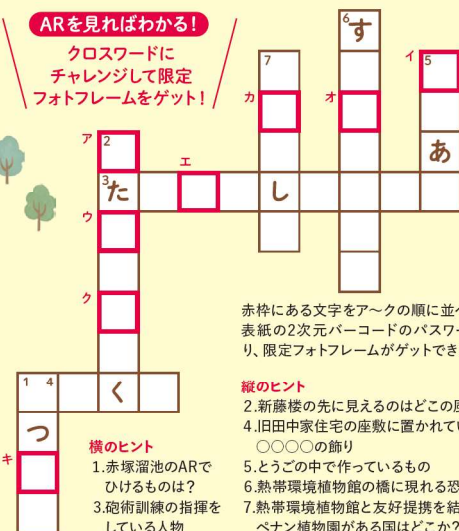


日本初の西洋式 砲術訓練



ARを見ればわかる!

クロスワードに
チャレンジして限定
フォトフレームをゲット!



赤枠にある文字をア〜クの順に並べると、表紙の2次元バーコードのパスワードとなり、限定フォトフレームがゲットできます。

縦のヒント

2. 新藤楼の先に見えるのはどの風景?
4. 旧田中家住宅の座敷に置かれているのは何?
5. とうごの中で作っているものは何?
6. 熱帯環境植物館の橋に現れる恐竜は?
7. 熱帯環境植物館と友好提携を結んでいるペナン植物園がある国はどこか?

横のヒント

1. 赤塚溜池のARでひけるものは?
3. 砲術訓練の指揮をしている人物

江戸の胃袋を支えた 大樽とうご



郷土資料館には、横幅約2m、高さ約1.7mの「とうご」という大きな酒樽が残されています。練馬・板橋において、とうごは江戸時代よりお酒ではなく、この地域に所縁の深い「ある食べ物」を作るために使われてきました。一体これほど大きな樽で何を作ってきたのでしょうか? 現地確かめてみましょう。

AR体験は
こちら!



東南アジアの熱帯雨林を再現している熱帯環境植物館では、指定されたスポットを見つけてARを起動すると、白亜紀の恐竜たちが熱帯雨林で生息する様子をARで見ることができます。館内を探索して、恐竜たちを見つけてみましょう!

AR体験は
こちら!



植物館に 恐竜が蘇る!?



赤塚溜池公園に 龍神が蘇る!?

現在は区民憩いの場となっていますが、名の通り昔は水草が茂る溜池で、龍神様が住んでいたという昔話も残っています。2次元バーコードを読み取って今の赤塚溜池にカメラをかざすと、今はなき溜池の昔の姿や赤塚溜池にすむ龍神様の姿を昔話と共にご体験いただけます。



AR体験は
こちら!



新藤楼と 今に続く板橋の歴史

現在郷土資料館前には、かつて板橋宿最大の妓楼であった「新藤楼」の門が移築されています。2次元バーコードから門を読み取ると、新藤楼のかつての姿を実寸大でご覧いただけるだけでなく、今に続く板橋の歴史を感じる体験が楽しめます。

AR体験は
こちら!

